

現代社会『高等学校 新現代社会』（現社-318）

本文・図版などの更新・変更

ページ・箇所	原文(誤)	訂正文(正)	補 足																																				
<p>巻頭 I, II 世界の国々 図中 年次</p> <p>アラスカ地名</p> <p>ウクライナ首都名</p>	<p>2020年9月現在</p> <p><u>パロー</u></p> <p><u>キエフ</u></p>	<p>2022年9月現在</p> <p><u>ウトキアグヴィク</u></p> <p><u>キーウ</u></p>	<p>アメリカの都市名パローを現地語表記ウトキアグヴィクに修正しました。</p> <p>ウクライナの首都名を、現地語表記（外務省表記）に修正しました。</p>																																				
<p>p. 19 本文16行目</p>	<p>ソ連(現ウクライナ)の<u>チェルノブイリ</u>で</p>	<p>ソ連(現ウクライナ)の<u>チェルノブイリ</u>(<u>チョルノービリ</u>)で</p>	<p>ウクライナの都市名を、現地語表記（外務省表記）に修正しました。</p>																																				
<p>p. 70 図② 図中 結婚できる年齢</p> <p>注釈</p>	<p><u>女性 16歳</u></p> <p>※※2022年4月以降は<u>男女とも18歳</u>。</p>	<p><u>女性 18歳</u></p> <p>※※2022年4月以降<u>。</u></p>	<p>女性の婚姻可能年齢の変更を反映しました。</p>																																				
<p>p. 86 図⑥ 図中・年次</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>衆議院</th> <th>参議院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定 数</td> <td>465人 (小選挙区: 289人 比例代表: 176人)</td> <td><u>245人*</u> (選挙区: 147人 比例代表: 98人)</td> </tr> <tr> <td>任 期</td> <td>4年 (解散のときは任期中でも資格を失う)</td> <td>6年 (3年ごとに半数を改選)</td> </tr> <tr> <td>選 挙 権</td> <td>18歳以上</td> <td>18歳以上</td> </tr> <tr> <td>被選挙権</td> <td>25歳以上</td> <td>30歳以上</td> </tr> <tr> <td>解 散</td> <td>ある</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table> <p>*2022年に3人(選挙区1, 比例代表2)を増やす予定。</p> <p>⑥ 衆議院と参議院(2019年8月)</p>		衆議院	参議院	定 数	465人 (小選挙区: 289人 比例代表: 176人)	<u>245人*</u> (選挙区: 147人 比例代表: 98人)	任 期	4年 (解散のときは任期中でも資格を失う)	6年 (3年ごとに半数を改選)	選 挙 権	18歳以上	18歳以上	被選挙権	25歳以上	30歳以上	解 散	ある	ない	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>衆議院</th> <th>参議院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定 数</td> <td>465人 (小選挙区: 289人 比例代表: 176人)</td> <td><u>248人</u> (選挙区: 148人 比例代表: 100人)</td> </tr> <tr> <td>任 期</td> <td>4年 (解散のときは任期中でも資格を失う)</td> <td>6年 (3年ごとに半数を改選)</td> </tr> <tr> <td>選 挙 権</td> <td>18歳以上</td> <td>18歳以上</td> </tr> <tr> <td>被選挙権</td> <td>25歳以上</td> <td>30歳以上</td> </tr> <tr> <td>解 散</td> <td>ある</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ 衆議院と参議院(2022年9月)</p>		衆議院	参議院	定 数	465人 (小選挙区: 289人 比例代表: 176人)	<u>248人</u> (選挙区: 148人 比例代表: 100人)	任 期	4年 (解散のときは任期中でも資格を失う)	6年 (3年ごとに半数を改選)	選 挙 権	18歳以上	18歳以上	被選挙権	25歳以上	30歳以上	解 散	ある	ない	<p>参議院の定数変更を反映しました。</p>
	衆議院	参議院																																					
定 数	465人 (小選挙区: 289人 比例代表: 176人)	<u>245人*</u> (選挙区: 147人 比例代表: 98人)																																					
任 期	4年 (解散のときは任期中でも資格を失う)	6年 (3年ごとに半数を改選)																																					
選 挙 権	18歳以上	18歳以上																																					
被選挙権	25歳以上	30歳以上																																					
解 散	ある	ない																																					
	衆議院	参議院																																					
定 数	465人 (小選挙区: 289人 比例代表: 176人)	<u>248人</u> (選挙区: 148人 比例代表: 100人)																																					
任 期	4年 (解散のときは任期中でも資格を失う)	6年 (3年ごとに半数を改選)																																					
選 挙 権	18歳以上	18歳以上																																					
被選挙権	25歳以上	30歳以上																																					
解 散	ある	ない																																					
<p>p. 89 側注1 3~6行目</p>	<p>復興庁, 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部, <u>国際博覧会推進本部</u>設置期間は<u>17人</u></p>	<p>復興庁, <u>国際博覧会推進本部</u>設置期間は<u>16人</u></p>	<p>東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部の解散を反映しました。</p>																																				
<p>p. 90 図③ 図中</p>			<p>東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部の解散を反映しました。</p>																																				
<p>p. 92 写真② 図中</p> <p>タイトル・在位</p>	<p>略</p> <p><u>エリザベス女王(イギリス)(在位1952~)</u></p>	<p>略</p> <p><u>チャールズ国王(イギリス)(在位2022~)</u></p>	<p>写真をチャールズ国王にしました。</p>																																				

現代社会『高等学校 新現代社会』（現社-318）

ページ・箇所	原文(誤)	訂正文(正)	補 足
p. 99 ③ 本文 左 段4行目	選挙権を有する <u>20</u> 歳以上	選挙権を有する <u>18</u> 歳以上	裁判員の選任年齢引き 下げを反映しました。
p. 114 図③ 図中 結婚 日本 注釈	^{※1} 女性 <u>16</u> 歳 ※1 2022年4月以降は <u>18</u> 歳	^{※1} 女性 <u>18</u> 歳 ※1 2022年4月以降 <u> </u>	女性の婚姻可能年齢の 変更を反映しました。
p. 114 ステップ1 本文4～6行目	22年 <u> </u> から成人年齢が18歳に引 き下げられる <u>ことになった</u> 。	22年 <u>4月</u> から成人年齢が18歳に引 き下げられ <u>た</u> 。	成人（成年）年齢引き 下げを反映しました。
p. 115 NAVI 3行目 ステップ4 見出し ステップ4 本文3～4行目	成人年齢も2022年 <u> </u> から引き下 げられる <u>ことが決定した</u> 。 ● <u>成人年齢の引き下げに賛成？</u> <u>反対？</u> 引き下げられ <u>る</u> ことの影響	成人年齢も2022年 <u>4月</u> から引き下 げられ <u>た</u> 。 ● <u>成人年齢<u> </u>引き下げの影響は？</u> 引き下げられ <u>た</u> ことの影響	成人（成年）年齢引き 下げを反映しました。
p. 169 本文13～14行目	2020年に署名 <u>された</u> 。	2022年に発効 <u>した</u> 。	RCEP協定の発効を反映 しました。
p. 187 側注④ 6～7行目	日本は <u>11</u> 回当選しており、全加 盟国の中で最多である(2018年)	日本は <u>12</u> 回当選しており、全加 盟国の中で最多である(2022年)	
p. 215 民法 年次 第4条 第731条	改正公布 <u>※2022年4月1日</u> 施 行 <u>予定</u> [※] 【 <u>成年</u> 】 [※] 【 <u>婚姻適齢</u> 】	改正公布 <u> </u> 2022年4月1日 <u>改正施</u> 行 <u> </u> 【 <u> </u> <u>成年</u> 】 【 <u> </u> <u>婚姻適齢</u> 】	